

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事 業 名 スタートアップ支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業イノベーション推進課 電話番号：058-272-1111(内3750)

スタートアップ推進係 E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 65,341 千円 (前年度予算額： 65,341 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	65,341	65,341	0	0	0	0	0	0	0
要求額	65,341	0	0	0	0	0	0	0	65,341
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

一般的にスタートアップは新しい技術を用いた製品や従来ないサービスを提供する者とされ、創業当初は利益が出ず事業化に向けた開発経費獲得など資金面で課題を抱えている。

県内の各支援機関では、事業化を目指すスタートアップ企業等がビジネスプランをプレゼンし合うピッチコンテスト等を実施しているが、県内のスタートアップが資金調達に至った例は多くなく、県内スタートアップからは製品開発や展示会出展への助成金や融資など資金面での支援を求める声が上がっている。

このような中、創業や事業加速化にあたり必要となる経費の一部を補助することで、産業振興の活性化を図る。

(2) 事業内容

県内で新たに創業する方や創業後 5 年未満の県内中小企業者等に対して、創業や事業加速化にあたり必要となる経費の一部を補助するとともに、その後の伴走支援等により成長・拡大につなげる。

（３）県負担・補助率の考え方

県が決定した執行団体（（公財）岐阜県産業経済振興センターを想定）に対し、補助率10/10で補助を行う。

（４）類似事業の有無

なし

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	65,341	ぎふプライムスタートアップ支援補助金 65,341千円（補助金、事務費、一財：65,341千円）
合計	65,341	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

１ 新たな産業活力創出プロジェクト＞ ＜産業構造の変化を捉えた次世代産業創出支援＞
＞（３）イノベーションを牽引するスタートアップの創出支援の強化

「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027 年度）３ 地域にあふれる魅力と活力づくり
＞（２）次世代を見据えた産業の振興＞③県内産業の活力の強化と新事業展開の推進＞（スタートアップの創出）

（２）国・他県の状況

愛知県（限度額200万円 補助率1/2）、名古屋市（限度額100万円、補助率1/3）において同様の補助金事業を行っている。

（３）事業主体及びその妥当性

県内でのスタートアップ支援は、産業の活性化、雇用の創出など地域の活性化を促進するものであり、当該経費を支出することは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	スタートアップ支援事業費補助金
補助事業者（団体）	（公財）岐阜県産業経済振興センター （理由）ぎふスタートアップ支援コンソーシアムの事務局で、採択者に対する伴走支援を実施することができるため
補助事業の概要	（目的）スタートアップの創出、成長支援 （内容） プライム：ロールモデルとなり得る優れたスタートアップである「ぎふプライムスタートアップ」の事業実施にかかる経費の一部を補助する
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） プライム：1,000万以内、最大2/3（女性、障がい者 最大3/4）、事業費 （理由） スタートアップは、一般的に新しい技術やサービスを提供する者であり、創業当初は利益が出ず、事業化に向けた開発経費獲得など、資金面で課題を抱えているため、創業や事業の推進に係る経費を支援する必要があるため。
補助効果	スタートアップの創業、事業の推進に係る金銭的支援を行うことで、スタートアップの創出、成長が推進され、岐阜県経済の活性化につながる
終期の設定	終期：令和9年度 （理由）岐阜県経済・雇用再生戦略終期のため

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

令和9年度までに、プライムの交付件数を21件とすることを目指す。

指標名	事業開始前 (R4)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①補助金交付件数 (プライム：累計)	0	5	10	14	21	28%

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	-	40,395	76,102

※一般枠とプライム枠の合計

(これまでの取組内容と成果)

令和5年度	スタートアップ支援事業費補助金（プライム枠）にて、2件の補助金交付を実施 プライム枠交付対象者が事業を加速化させ、民間投資会社から資金調達を行うなどの成果が出た。
	指標③ 目標：2 実績：2 達成率：100%
令和6年度	スタートアップ支援事業費補助金（プライム枠）にて、3件の補助金交付を実施 プライム枠交付対象者が事業を加速化させ、民間会社と新たな事業連携を行う等の成果が出た。
	指標③ 目標：3 実績：3 達成率：100%
令和7年度	令和9年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	内閣府はスタートアップ育成5か年計画を定めており、スタートアップの創出、育成の支援は引き続き必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	単年度目標について100%達成している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	補助事業者と定期的な進捗報告や県内のスタートアップの情報交換を行うことで、事業の効率化を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 引き続き、各支援段階に応じたスタートアップの掘り起こしと育成を、ぎふスタートアップ支援コンソーシアム会員と連携しながら行っていく必要がある。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本県経済の活性化のため、優れたスタートアップの創出を目指し、支援を行う。
